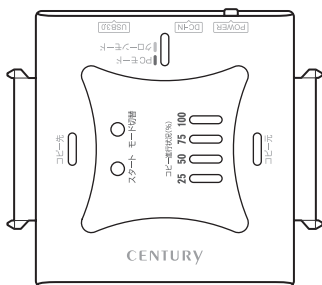


裸族の頭 USB3.0 クローンプラス SATA6G

CRAS2U3CP6G 取扱説明書



【もくじ】

ごあいさつ	4
<hr/>	
はじめに	5
<hr/>	
●安全上のご注意	5
●制限事項	10
●ご使用の前に	11
<hr/>	
製品仕様	12
<hr/>	
製品内容	13
<hr/>	
各部の名称	14
<hr/>	
対応HDD/SSD	16
<hr/>	
対応機種	17
<hr/>	
対応OS	18
<hr/>	
HDD/SSDの接続方法	20
<hr/>	

PCとの接続方法	22
電源の投入方法	23
ディスククローン機能	24
クローンモード時のトラブルシューティング	28
トラブルシューティング	34
FAQ	36
クローンモード時のFAQ	38

巻末付録

巻末付録1

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
 - Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合 …… 巻末付録2
 - Windows XPの場合 …… 巻末付録10
- ハードウェアの取り外し手順…………… 巻末付録16
- Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録18
- Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法…………… 巻末付録22
- サポートのご案内…………… 巻末付録26

【ごあいさつ】

このたびは、

「裸族の頭 USB3.0クローンプラス SATA6G(CRAS2U3CP6G)」

をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。

ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

【はじめに】

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

- ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

	注意指示事項		禁止(禁止行為)
	分解禁止		濡れた手での接触禁止
	水濡れ禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		ケガに注意

【はじめに】

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

警告



電源コード、接続コードに関する注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。



雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。



体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

【はじめに】

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠ 注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

注意



長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。



機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。



小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。



静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

【はじめに】

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は2.5/3.5インチシリアルATA HDD/SSD専用です。パラレルATA(IDE)は使用できません。
- 製品の構成上、とがった部分がございますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることとなりますので、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。

また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

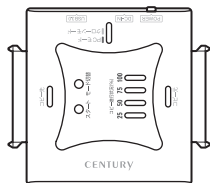
【製品仕様】

- 型番：CRAS2U3CP6G
- 商品名：裸族の頭 USB3.0クローンプラス SATA6G
- インターフェイス：[デバイス側]SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
[ホスト側]USB3.0
- USBコネクタ形状：micro Bタイプ
- 重量：約 55g（本体のみ／ドライブ、付属品含まず）
- 寸法：幅70mm × 高さ16mm × 奥行65mm（突起部含まず）
- 温度・湿度：温度5～35℃・湿度20～80%
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
- ACアダプター仕様：[入力]100V～240V 1A [出力]12V 3A

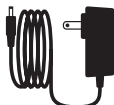
※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

【製品内容】

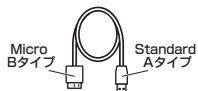
- CRAS2U3CP6G 本体
- 専用ACアダプター
- 専用USB3.0ケーブル
- 取扱説明書/保証書（本書）



CRAS2U3CP6G 本体



専用ACアダプター



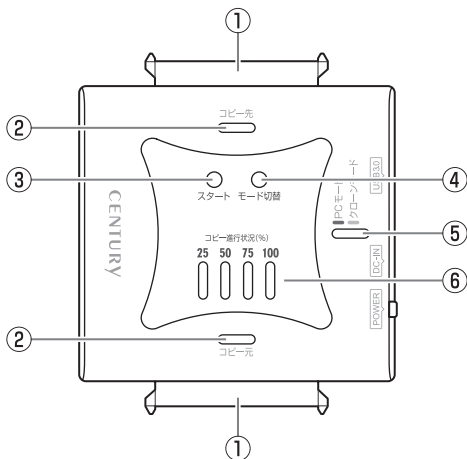
専用USB3.0ケーブル



取扱説明書/保証書

【各部の名称】

〈上面〉



①SATAコネクタ

②アクセスLED

- ディスク接続時：青色点灯
- ディスクアクセス時：ピンク色点滅

③スタートボタン

- クローンモード時に押下することでコピーの開始を行います。

④モード切替ボタン

- 長押しで「PCモード」と「クローンモード」の切り替えをします。

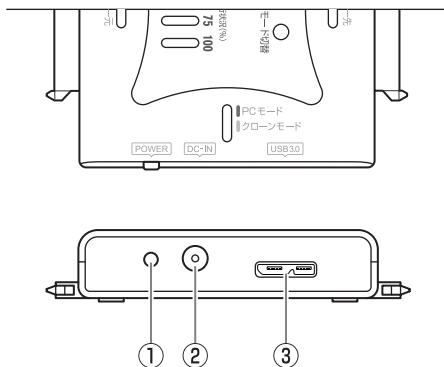
⑤パワーLED

- PCモード時：青色点灯
- クローンモード時：赤色点灯

⑥コピー進行状況LED

- クローンモード時、LEDの点滅と点灯で進行状況を表示します。

〈側面〉



- ①電源ボタン
- ②電源コネクタ
- ③USB3.0コネクタ

【対応HDD/SSD】

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はUSB3.0の上限速度となります。

〈HDD〉

■シリアルATA(SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)仕様の 2.5インチ/3.5インチHDD

※8TBまでのHDDで動作確認を行っております。(2015年10月現在)

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

また、Windows XPはOSの制限により、2TB以上のHDDは使用できません。あらかじめご了承ください。

※SAS(Serial Attached SCSI)HDDは使用できません。

※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

〈SSD〉

■MLCタイプの5V駆動2.5インチSATA SSD(SATAI/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※3.3V駆動の1.8インチSSDや、ZIFソケット、MicroSATA、MiniSATAおよび特殊形状のSSD(Asus EeePC内蔵のSSD等)は接続できません。

また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

【対応機種】

※UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8以降またはMac OS 10.8以降のOSが必要となります。

〈Windows〉

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
- CPUクロック2GHz / メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

■動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

- Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- FrescoLogic FL1100 USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ
- RENESAS(NEC) μ PD72020x USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。
従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0(480Mbps)になります。

〈Mac〉

- USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したMac(USB3.0モード動作時)
- USB2.0インターフェイスポートを標準搭載したMac(USB2.0モード動作時)

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルでのみ保証します。

※USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

【対応OS】

〈Windows〉

■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista/
Windows XP(32bit SP3)

※Windows RT、Starter Edition、Embeddedは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

〈Mac〉

■Mac OS 10.11/10.10.5/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8 (2015年10月現在)

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品はOS起動には対応していません。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDD/SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。

しかし、内蔵用HDD/SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



【HDD/SSDの接続方法】

〈HDD/SSD接続の前に〉



警告

HDD/SSDを接続する前に、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。本製品の電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■注意

※すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。



注意

各部品で手を切らないようにご注意ください。

〈HDD/SSDの接続方法〉

P.21を参照の上、HDD/SSDを接続します。

■注意

※必ず接続する順番と電源を入れる順番を守ってください。
手順どおりに接続および電源を入れないと、正常に動作しないばかりか本製品および接続したHDD/SSDを破損する可能性があります。

〈使用上のご注意 ～必ずお読みください～〉

■HDD/SSDの設置場所に関する注意

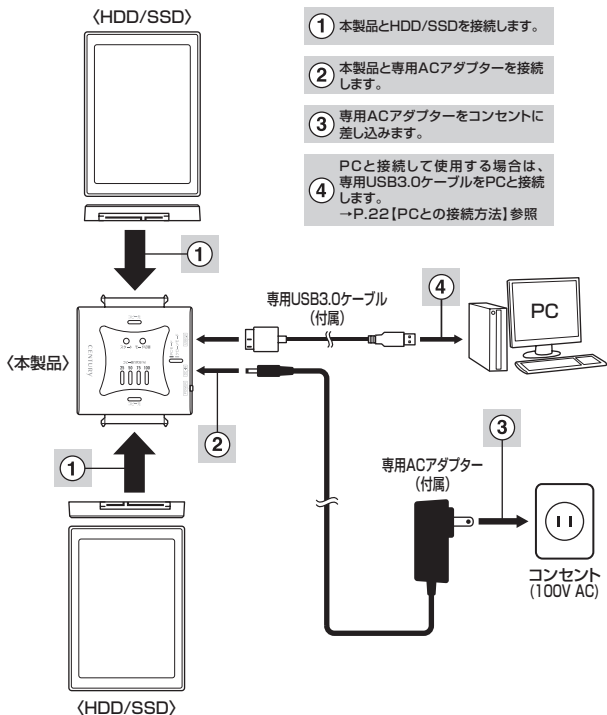
商品の性質上、HDD/SSDは周囲の影響を受けやすくなっています。

電気を通しやすいもの、例えば金属のうえ等では電源を入れたり、使用したりしないでください。接続したHDD/SSDがショート等を起こし、破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

また、常設、長期連続稼働を前提としてのご使用であれば、本製品ではなく据え置き型のHDDケースのご検討をお願いいたします。

■HDD/SSDの接続方法

下図の番号順に接続してください。



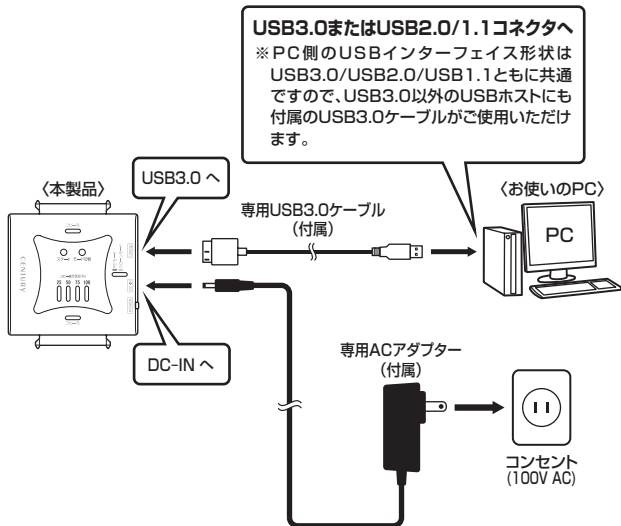
※取り外す際は、本製品の電源をOFFにしてから逆の手順をたどってください。

【PCとの接続方法】

本製品とPCを下図のように接続します。

※必ずHDD/SSDの接続を完了してからPCに接続してください。

PCに接続したままHDD/SSDの取り付け、取り外しを行うと、HDD/SSDが認識しなかったり破損するおそれがあります。

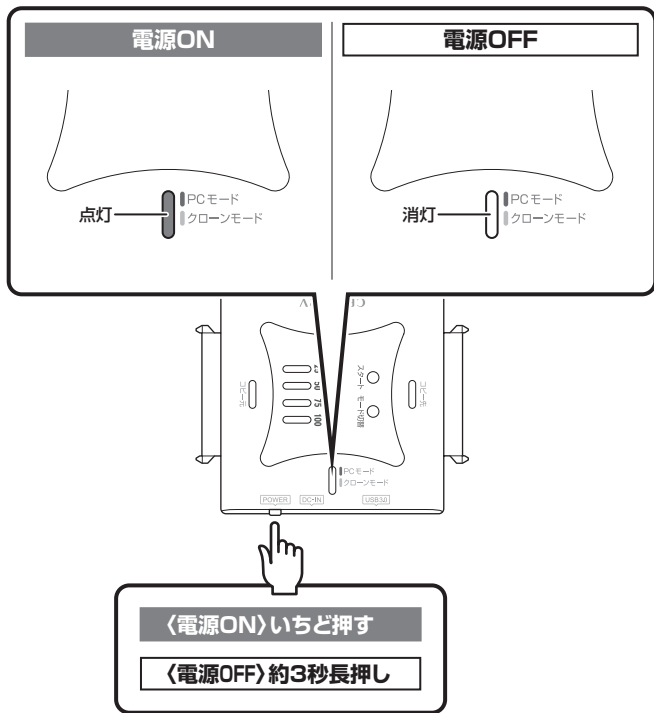


各ケーブル接続後、電源スイッチを入れる

※図はイメージです。

【電源の投入方法】

電源ボタンを一度押すと電源ON、電源ONの状態では約3秒長押しすると電源OFFになります。



※電源OFF→電源ONを行うときは、電源をOFFにしたあと約5秒程度待ってから電源をONにしてください。

【ディスククローン機能】

本製品はPCと接続せず、単体でディスクのクローンができる機能が搭載されています。セクタ単位のコピーなので、内容を問わずディスクを丸ごとバックアップすることが可能です。また、ファイルシステムも含めてコピーされるので、コピー先のディスクをフォーマットする必要もありません。

⚠ 注意

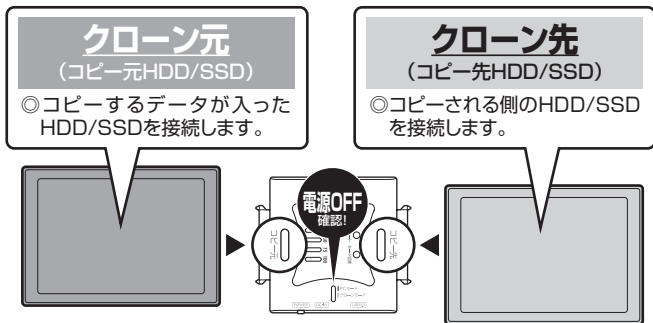
～ディスククローンをご使用前に～

ディスククローンを行う際、ディスクの接続場所や操作を誤ると、大事なデータがすべて消失してしまうおそれがありますので、必ず本取扱説明書の手順にしたがって、操作を行ってください。また、次のようなディスクはコピーの読み込み、書き込み双方に使用できません。

- 不良ブロック/セクタのあるHDD/SSD
- 認識しないHDD/SSD
- その他、動作の不安定なHDD/SSD

■ディスククローンの手順

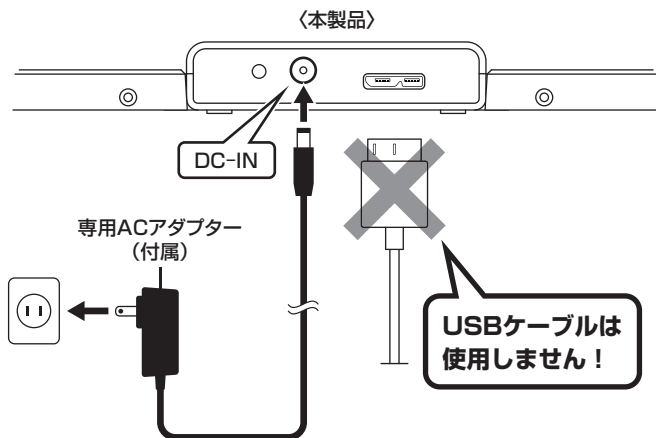
1. 電源がOFFになっていることを確認し、コピー元SATAコネクタにクローン元のHDD/SSDを接続し、コピー先SATAコネクタにクローン先のHDD/SSDを接続します。



⚠ 注意

HDD/SSDを接続するスロットにご注意ください。クローン元とクローン先を間違えてコピーを開始すると、クローン元のHDD/SSDの内容がすべて消失してしまいます。また、クローン先のHDD/SSDは必ずクローン元のHDD/SSDと同容量または大きい容量のものを接続してください。クローン元より容量が小さい場合、コピーが開始されません。クローン元と同容量であっても、メーカーが異なる場合、容量に誤差がありコピーができない場合がありますので、同容量でコピーする場合は同メーカー・同型番のものをご使用ください。

2. 本製品と専用ACアダプターを接続します。
USBケーブルがPCと接続されている場合は取り外してください。



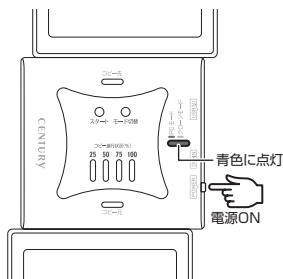
[ディスククローン機能] (つづき)

3. 電源ボタンを押して電源をONにします①。

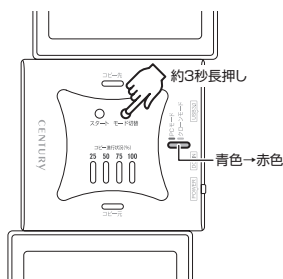
HDDの回転が安定してからモード切替ボタンを約3秒長押しすると、パワーLEDが青色から赤色に切り替わります②。

これでクローンの準備は完了です。

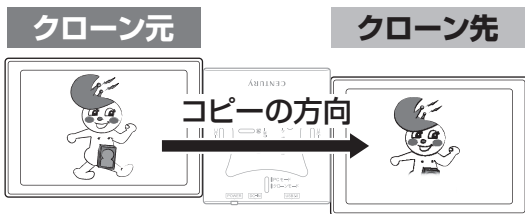
①電源ON



②モード切り替え



〈クローン元からクローン先へのデータの流れ方イメージ〉



4. スタートボタンを押すと、ディスククローンが開始します。

コピー元/コピー先のアクセスLEDがピンク色に高速点滅し、コピー進行状況LEDの左のLEDが青色に点滅します。

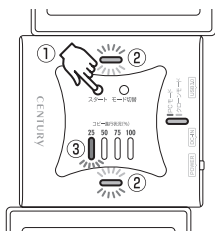
コピーが25%進行するごとに左のLEDから点滅→点灯に変わります。

コピー進行状況LEDがすべて点灯し、コピー元/コピー先のアクセスLEDがピンク色の高速点滅から青色の点灯に変わるとコピー完了です。

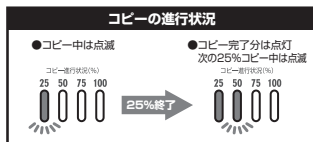
※コピー完了後5分ほどでHDDの回転は停止しますが、電源は自動的にOFFにはなりません。

コピーが完了したことを確認したら必ず電源をOFFにしてから、HDD/SSDを取り外してください。

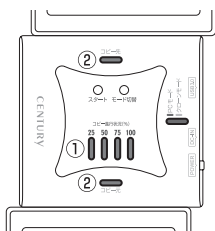
●コピー開始時



- ① スタートボタンを押す
- ② アクセスLEDがピンク色に高速点滅
- ③ コピー進行状況LEDが青色に点滅、点灯



●コピー終了時



- ① コピー完了時、コピー進行状況LEDが全点灯
- ② アクセスLEDがピンク色の高速点滅→青色点灯

※コピー完了後、約5分ほどでHDDの回転は停止しますが、電源は自動的にOFFにはなりません。

コピーが完了したことを確認したら必ず電源をOFFにしてから、HDD/SSDを取り外してください。

⚠ 注意

コピー中に電源をOFFにしないでください。HDD/SSDの内容が破損するおそれがあります。

〈HDDの容量とコピー時間の目安〉

～参考～ 弊社テスト環境にて2TB HDDのコピーが約180分。

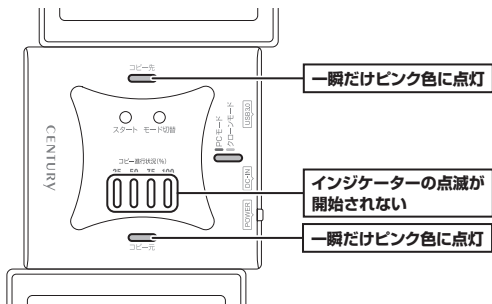
【クローンモード時のトラブルシューティング】

コピーが開始されない、またはコピーが途中で止まってしまうなど、正常に動作していない場合は以下の対処をお試しください。

■コピーが開始されない

どちらかのディスクに異常がある、またはクローン先のディスク容量がクローン元のディスク容量より少ない場合、コピーは開始されません。異常のあるディスクを交換するか、クローン先をディスク容量の大きいものに交換してください。

～コピーが開始されないときの各LEDの挙動～



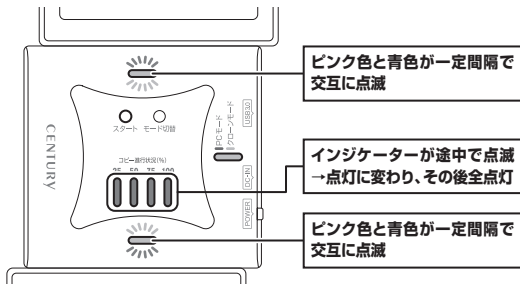
■コピーが途中で止まる

クローン元かクローン先に不良セクタがあると、コピーが途中で止まります。

この場合、本製品の電源をOFFにして、ディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

※本製品のディスククローン機能はディスク双方に不良セクタ、不良ブロックがある場合、コピーできません。あらかじめご了承ください。

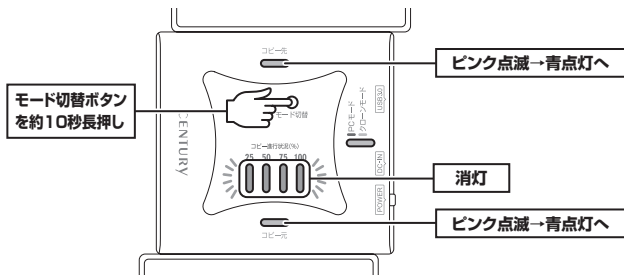
～コピーが途中で止まるときの各LEDの挙動～



■コピーを途中で中止したい

コピーを途中で中止したい場合、モード切替ボタンを約10秒長押しすると、コピーが中止されます。再度コピーを開始しても、中止した所から再開されず、先頭からのコピーになりますので、やむを得ない事情がない限りコピーを中止しないでください。

～コピーを途中で中止したい場合～

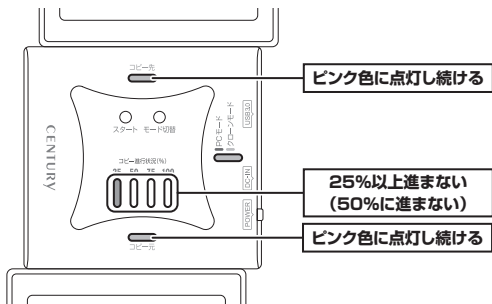


【クローンモード時のトラブルシューティング】

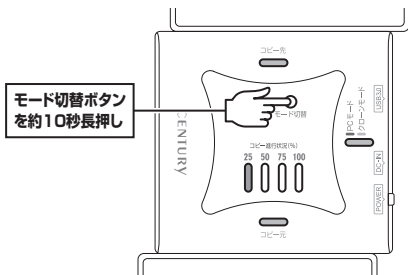
■コピーが正常に行われていない

1. 下記の状態になった場合、モード切替ボタンを約10秒長押しし、コピーを中止したあと、電源を切ってください。

～コピーが正常に行われていないときの各LEDの挙動～

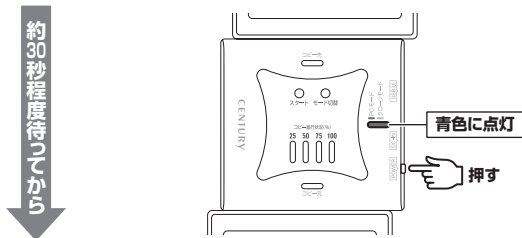


～コピーを中止する～

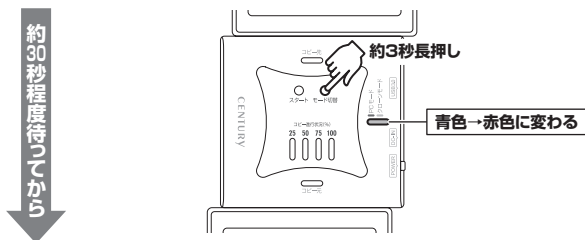


2. 再度電源を入れなおし、下記の手順にてもういちどコピーをお試ください。

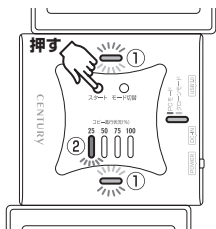
①電源ON



②モード切替ボタンを約3秒長押しする

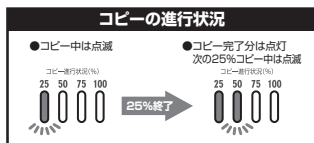


③コピースタートボタンを押す



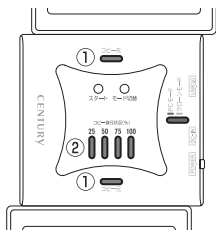
コピーが正常に動作している場合、

- ①アクセスLEDが青色⇄ピンク色に点滅
- ②コピー進行状況LEDが点滅し、25%完了後は50%へ進む



【クローンモード時のトラブルシューティング】

●コピーが正常に終了した際の各LEDの挙動



①コピー完了時、アクセスLEDが青色⇄ピンク色点滅から青色点灯へ

②コピー進行状況LEDが全点灯

※コピー完了後、約5分ほどでHDDの回転は停止しますが、電源は自動的にOFFにはなりません。

コピーが完了したことを確認したら必ず電源をOFFにしてから、HDD/SSDを取り外してください。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- 接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- 電源ボタンのLED、HDD/SSDアクセスLEDが点灯しているか
- Windows XP に2TB超のHDDを接続した場合、OS側の仕様で認識されません。2TBまでのHDDをご使用ください。
- DVD-ROM等の光学ドライブなど、HDDではないデバイスには対応しておりません。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、電源をONにしてください。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

→USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。

ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

■2TBを超えるボリュームを初期化しようとする2TBで分割されてしまう

→MBR形式の場合、使用できる最大容量が2TBとなります。

GPT形式にて初期化することで、2TB以上のパーティションを作成、使用することが可能です。

■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

- **1MB = 1,000,000 バイト**

で計算した値で示しています。それに対し、一般的には、

- **1KB = 1024 バイト**
- **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**
- **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**
- **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみると、

- **2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約1.8TB**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

次のページを参照して初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→巻末付録18【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)】
または
巻末付録22【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】
をご確認ください。

■【CRAS2U3CP6G】からOSが起動しない

→OS起動はサポートしていません。

[FAQ]

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：8TB(テラバイト)までとなります。(2015年10月現在)

Q：カードリーダーのようにHDD/SSDを抜き差しして使うことは可能ですか？

A：残念ながらできません。本製品はあくまでドライブアダプターですので、電源を切った上で抜き差しをする必要があります。

電源を入れた状態でHDD/SSDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDD/SSDを故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：OS起動はサポート対象外とさせていただきます。ご了承ください。

Q：USBバスパワーで動作しますか？

A：本製品はバスパワー駆動には対応していません。2.5インチHDD/SSDを使用する際も必ずACアダプターからの電力供給が必要になります。

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。

ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：S.M.A.R.T情報が表示されない

A：SMARTを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

Q：USBのバスパワーで動作しますか？

A：接続するHDD、SSDの種類を問わず、バスパワーでは動作しません。

必ず添付のACアダプターを接続してご使用ください。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象外となります。

サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。

ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

【クローンモード時のFAQ】

Q：異なる容量のHDDでもコピー可能ですか？

A：可能です。ただし、クローン元HDDの容量がクローン元HDDの容量とまったく同じか、クローン元HDDよりも大きなものでなければなりません。
カタログスペックでは同じ容量のHDDでも、わずかに容量が異なる場合がありますのでご注意ください。

Q：異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか？

A：クローンモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。
500GB HDDから1TB HDDへコピーした場合、先頭からの500GB分はそのままコピーが行われ、残り500GB分が空き容量となります。
空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。

■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista/Windows XPの場合
ディスクの管理で余った容量に対して追加でパーティションを作成、利用可能です。

※Windows環境ではパーティションを編集するソフトウェアが販売されております。
そういったソフトウェアを利用することで、空き領域を利用することが可能な場合もございます。

■Mac OS の場合

残念ながら利用する方法はございません。

Q：異なる回転数、モデルのHDDでもコピー可能ですか？

A：可能です。

Q：Linux、HDDレコーダー、カーナビ等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー可能ですか？

A：クローンモードはセクタ単位のコピーを行うため、HDD内のファイルシステムやデータフォーマットを判別しておりません。そのため、クローンモードでHDDのクローンを作成することは可能です。まったく同じ容量、メーカー、銘柄のHDDであればそのまま起動も可能ですが、容量が異なるHDDにコピーした際のOSの扱いがどのようになるかは未検証ですので、お客様の責任において行っていただきますようお願いします。

その他、コピー防止等の機能、プログラムの存在により動作しない場合もございます。あらかじめご了承ください。

Q：不良セクタのあるHDDでもコピー可能ですか？

A：残念ながらコピーできません。読み込み、ないし書き込みエラーが発生した時点でエラーとなりコピーが停止します。セクタスキップ等は行いません。

Q：コピーが完了すれば、確実にコピーは行えていますか？

A：本製品のディスククローン機能は簡易的なものであり、コピー時にデータの検証は行っていません。

弊社製品「これdo台」シリーズでは、コピー後にHDD双方のデータ比較(コンペア機能)を搭載しておりますので、より確実なHDDコピーを行いたい場合はこれらの製品をお買い求めください。

Q：メーカーAの40GB HDDからメーカーBの40GB HDDへコピーができないのですが？

A：同じ40GB HDDでもメーカーによって細かい容量が異なります。

クローンモードでは1バイトでもクローン元が大きな容量ですとコピーができません。

また、同じ型番のHDDでもロット差により細かい容量の差がある場合がありますのでご注意ください。

Q：SCSI、SASのHDDをコピー可能ですか？

A：対応しておりません。

Q：IDE (PATA) HDDのコピーは可能ですか？

A：本製品はSATA HDD/SSD専用になりますので、IDE HDDのコピーはできませんが、弊社製品のIDE-SATA変換アダプター「裸族のお立ち台のお立ち台(CROO-IS)」を使用すれば、IDE HDDのコピーが可能です*。

※すべてのIDE HDDがコピーできるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

→弊社テストHDD：HGST HDS722525VLAT80(250GB)

Q：PC内蔵HDDをUSB接続状態でコピー可能ですか？

A：PCに内蔵したままではクローンモードを使用することはできません。

クローンモードを使用する場合、必ずHDDをPCから取り出して直接本製品に接続しなければなりません。

Q：クローン元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをクローン元よりも小さなHDDにコピーできますか？

A：残念ながらできません。

使用していない領域もコピーを行いますので、必ずクローン先HDDはクローン元HDDよりも大きな容量でなければなりません。

【クローンモード時のFAQ】(つづき)

Q：コピーにかかる時間はどのくらいですか？

A：コピーを行うHDDによっても異なりますが、一例として、2TBのHDDのコピーを約180分程度で行えております。

Q：コピーする前にクローン先HDDをフォーマットしておく必要はありますか？

A：必要ありません。クローン元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、クローン先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

Q：コピー進行状況LEDがコピー中を示していますが、コピーがいつまでたっても終わりません。

A：HDDにエラーがある場合、基本的にはコピー進行状況LEDが全点灯し、エラー状態であることを示しますが、HDDの故障状態によってはコピー中の表示のまま止まってしまう場合もあります。

HDDの容量とコピー時間の目安(P.27参照)から、異常に長い間コピーが終了しない場合、コピーを中断してディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

Q：差分バックアップは可能ですか？

A：対応しておりません。すべて先頭からの全領域コピーとなります。

Q：パソコンから抜き出したHDDをコピーして入れ替えたが起動しません。

A：パソコンによっては、保守用の特殊なパーティションがあり、HDDを変更したことにより動作に支障が出る場合があります。

残念ながらこの場合は、コピーは行えても起動には使えない状態となってしまいます。あらかじめご了承ください。

【巻末付録】

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
 - Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合 ……巻末付録2
 - Windows XPの場合 ……巻末付録10
- ハードウェアの取り外し手順…………… 巻末付録16
- Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで) …… 巻末付録18
- Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法 …… 巻末付録22

！ ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Windows 10】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



【Windows8(8.1)】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>



【Windows 7】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>

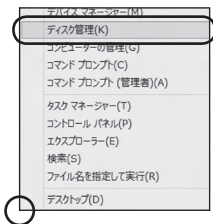


【Windows Vista】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windowsvista.html>



1.



□Windows 10/8(8.1)

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

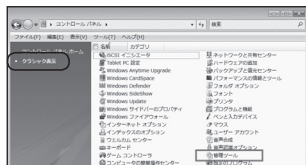
その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

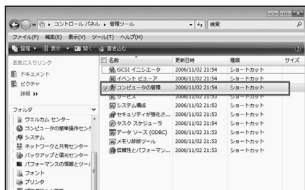


□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

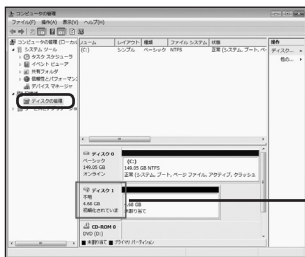
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。

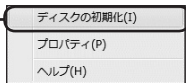
システムの管理者にご相談ください。

3.

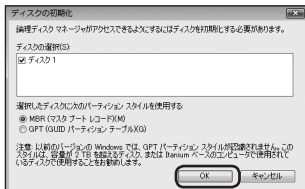


【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されます。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。



4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのいかを確認して【OK】をクリックします。

5.

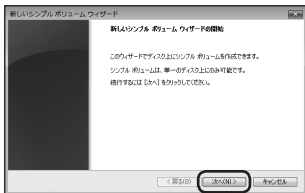


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

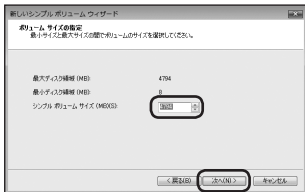
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

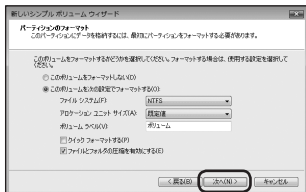
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

- ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

- ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

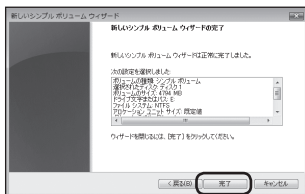
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

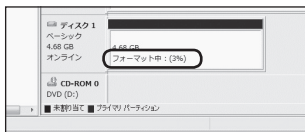
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

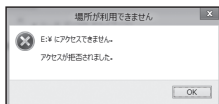
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとするすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

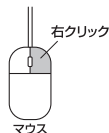
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

■Windows XPの場合

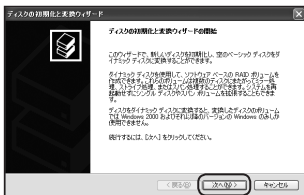
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



2.



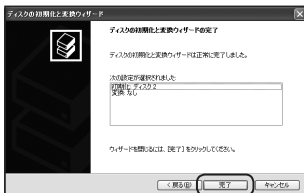
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

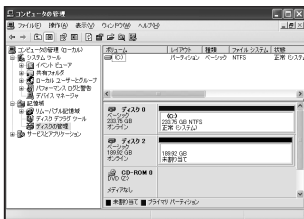
4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

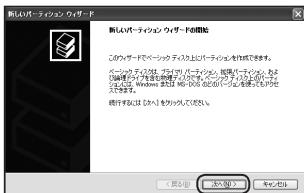
5.



次にパーティションの作成を行います。

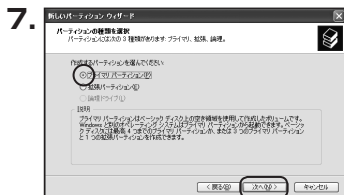
「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。

6.



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

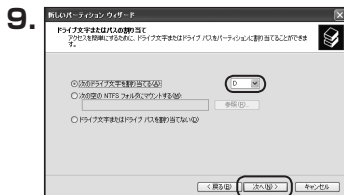
※ひとつのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。



「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

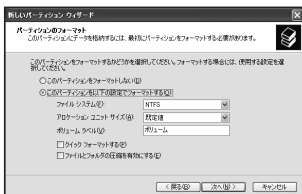
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

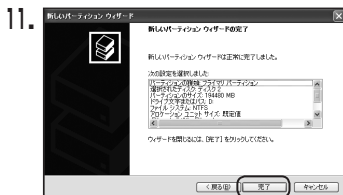
※Windows XP では32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- 使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
- アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。
指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様の読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくは、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。



フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【巻末付録】

ハードウェアの取り外し手順

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDD/SSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

※画面は Windows 8 のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

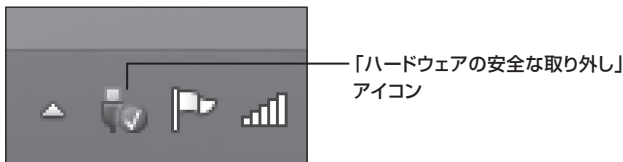
1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

例：ドライブ（F:）を取り外す場合

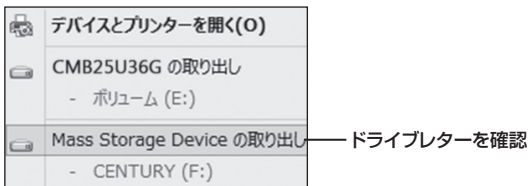
名前	種類
▼ ハード ディスク ドライブ (3)	
ローカル ディスク (C:)	ローカル ディスク
ボリューム (D:)	ローカル ディスク
ボリューム (E:)	ローカル ディスク
▼ リムーバブル記憶域があるデバイス (1)	
CENTURY (F:)	リムーバブル ディスク

ドライブレター

2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

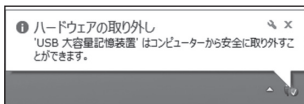


3. 手順1で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



【巻末付録】

Mac OSでの使用方法 (Mac OS 10.6~10.10まで)

本項では、Mac OSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※Mac OS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録22【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



注意

安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

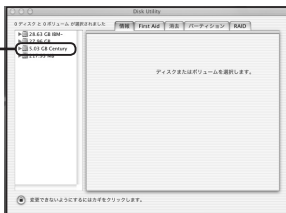
●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>



1.



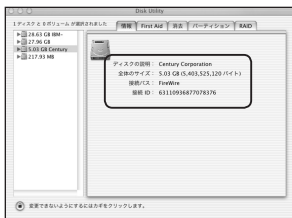
容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名 前**：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS標準が Mac OS拡張を選択してください。
- **サ イ ズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オ プ シ ョ ン**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分 割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削 除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元 に 戻 す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ
にHDDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

【巻末付録】

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OSX El Capitan[Mac OS 10.11])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウィンドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

【巻末付録】

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法(つづき)

3.



- ① ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。

「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。

exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

- ②「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

【巻末付録】

サポートのご案内

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十余^{とよふたおきなほら}二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチリーおよびセンチリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.